

## 経歴

チャーニンウィット・カセートシリ

1941	タイ、ラーチャブリー県バンボーン郡生まれ
1963	タイ、タマサート大学学士号(外交)
1964	バンコク都庁、外務省職員
1967	ロサンゼルス、オクシデンタル・カレッジ修士号(外交)
1972	ニューヨーク、コーネル大学博士号(東南アジア史)
1973-2001	タマサート大学教養学部歴史学科講師
1977-78	京都大学東南アジア研究所客員研究員
1978-	人文社会科学教科書振興財団事務局長
1978-79	カリフォルニア大学バークレー校、サンタ・クルーズ校客員講師
1981-83	タマサート大学教養学部歴史学科長
1982-85	タマサート大学タイ・カディ研究所副所長
1983-88	タマサート大学副学長
1985-86	コーネル大学東南アジア研究プログラム客員研究員、教授
1991-	シャム・アーカイブ協会会長
1991-94	タマサート大学教養学部長
1994-95	タマサート大学学長
1995	東南アジア研究地域交流プログラム創立メンバー
1995-96	ハワイ大学歴史学部客員研究員、教授
1998-	タイ国トヨタ財団理事
2000-01	タマサート大学東南アジア研究所所長(タイにおける最初の学部生向け東南アジア研究プログラム)
2002-	タマサート大学教養学部東南アジア研究プログラム上級顧問
2004	ハワイ大学アジア研究客員研究員
2009	第21回シーブーラパー賞受賞
2011-12	シンガポール、東南アジア研究所プロフェッショナルフェロー

## 主な著作

- 『第一次ビブーン政権と第二次世界大戦』『サイアム・ソサエティージャーナル』(英語), Vol. 62, No.2, バンコク: サイアム・ソサエティ, 1974.
- 『アユタヤの興隆—14～15世紀のシャムの歴史』(英語), クアラルンプール: オックスフォード出版局, 1975.
- 『タイの隣邦東南アジア』(編集主幹)(全22巻), バンコク: タイ研究基金, 人文社会科学教科書振興財団, 1997-98.
- 『首都と海港の起源—初期アユタヤ定住と東アジアの貿易』『日本からアラビアへ: アユタヤのアジア海上関係』(英語) バンコク: 人文社会科学教科書振興財団, 1999.
- 『アユタヤ—歴史と政治』バンコク: タイ国トヨタ財団、人文社会科学教科書振興財団, 1999.
- 『タイ政治史: 1932～1957』第4版, バンコク: 人文社会科学教科書振興財団, 2001.
- 『タイの歴史—タイ高校社会科教科書』(世界の教科書シリーズ6)(日本語), 柿崎 千代訳, 明石書店, 2002.
- 『タイ・カンボジア愛憎関係』『Kyoto Review of Southeast Asia 3』(英語), 京都大学東南アジア研究所, 電子ジャーナル, 2003. <[http://kyotoreview.cseas.kyoto-u.ac.jp/issue/issue2/article\\_242.html](http://kyotoreview.cseas.kyoto-u.ac.jp/issue/issue2/article_242.html)>
- 『アユタヤ Discovering Ayutthaya』(編集主幹), バンコク: タイ国トヨタ財団, 人文社会科学教科書振興財団, 2003. [英語・日本語版2007、日本語版: 吉川利治訳]
- 『シャムからタイへ—名前に秘められているもの』(英語字幕: Benedict Anderson), バンコク: 人文社会科学教科書振興財団, VCD, 2008. <[http://textbooksproject.org/?page\\_id=129](http://textbooksproject.org/?page_id=129)>
- 『メコン川に関する解題つき書誌目録』(共著)(英語), チェンマイ: メコン・プレス, 2008.
- 『シャム/タイのナショナリズムとカンボジア: プレアヴィヒア寺院の事例』バンコク: タイ国トヨタ財団, 2009.
- 『ビルマ—歴史と政治』(英語), バンコク: 人文社会科学教科書振興財団, タイ国トヨタ財団, 2009.
- 『我が国境、我がアセアン隣国』(編)(全6巻), バンコク: 人文社会科学教科書振興財団, 電子書籍, 2011. <<http://textbooksproject.com/Ebook/index.html>>
- 『メコン川—ジャチュからランチャン、トントレム、クーロンへ』第2版, バンコク: タイ国トヨタ財団, 2011.

※言語記載のないものはタイ語